

# Aichi

## あいちの学童保育

県連協ニュースNo. 4号

2019年10月1日発行

愛知学童保育連絡協議会

TEL:052-872-1972 FAX:052-308-3324

Email:aichigakudou@gakudou.biz

http://gakudou.me/aichikenrenkyou/

### 県との懇談を終えて



9月5日(木)10時~11時45分、愛知県自治センターにおいて、愛知県健康福祉部子育て支援課と愛知学童保育連絡協議会との2019年度懇談会を開催しました。子育て支援課からは課長補佐をはじめ4名、県連協からは役員含む4地域(名古屋・東海・阿久比・豊川)10名と個人会員の2名、愛知県議会議員の筒井タカヤさん(無所属、県政自民クラブ)にも同席いただき、全体で17名の県懇談会となりました。昨年に続き平日の午前の開催で、参加人数が少なかったのが残念でしたが、子育て支援課の方に丁寧な対応をしていただき、終始和やかな懇談となりました。懇談は、要望書に沿って回答をいただき、参加者からは、質問の後、地域の現状を伝えると共に、施策拡充への意見が出されました。

国の基準が参酌化したことで、市町村が条例を改定する可能性が出てきましたが、今のところ県には改定の話は届いていないそうです。県としては、子どもの安全確保、育成支援の質の確保がまず何よりも優先されるべきであると考えているため、この主旨を市町村へ伝えていきたいとのことでした。認定資格研修については来年度以降も引き続き開催する予定です。県独自の施策やそれに伴った増額の要望については、「県の予算額が年々大幅に増額しているため単独施策は厳しい。まずは国の予算の増額に乗り遅れることのないように対応していきたい」と話されました。ただし、国の補助金については、市町村が処遇改善や研修事業等全ての補助金を活用できるよう働きかける意向を示しました。

今年度は以下の項目を要望いたしました。

### 2019年度愛知県の学童保育施策拡充を求める要望書

#### 【要望項目】

1. 研修について
  - ① 新任研修を市町村がおこなうように働きかけてください。また、一定程度市町村で新任研修がおこなわれるまでは、県が責任を持って新任研修をおこなってください。
  - ② 資質向上研修は、グループワークを活用する等、参加者が主体的に学べる研修にしてください。
2. 巡回アドバイザーは、子どもを主体とした学童保育実践できるアドバイザーができる人を配置若しくは委嘱して、実施してください。
3. 処遇改善事業を実施している市町村の実態及び実施していない市町村のしていない理由を把握し、すべての市町村が簡単に利用しやすい制度になるよう国へ上申してください。
4. 国に以下の加算措置を予算化するよう働きかけてください。ただし、国が予算化するまでは、愛知県として予算化をしてください。
  - ① 安定した運営ができ、学童保育指導員の処遇が改善されるよう、1ヶ所あたりの補助基準額を増額してください。
  - ② しょうがいのある子の受け入れをさらに進めるために、「放課後児童クラブ障害児受入推進事業」の費用を、常勤の職員が配置できる額(少なくとも医療的ケア児受け入れの額)にしてください。また、「放課後児童クラブ障害児受入強化推進事業」を「放課後児童クラブ障害児受入推進事業」にあわせ予算を増額するとともに、両事業とも、しょうがいの実態に合わせ使いやすく、かつ手続きの簡素化をしてください。
  - ③ ひとり親家庭等、日中の生活の場や家庭支援を必要とする子どもたちが、優先的に学童保育に入れるよう最大限に配慮いただくと共に、県としても補助制度等を創設してください。
5. 平準化に該当する学童保育が県内で計画的に増えるようまた各市町村の「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」の水準が保たれるためにも、埼玉県のように県の基準をつくってください。

### 県懇談に参加して・・・



初めて県懇談に参加しました。自分の住む地域での話をさせていただきましたが、他市の方の現状も聞く機会にもなり、県内における学童保育事情は随分と格差があることがわかりました。地域や現場の声として届けることができるこの県懇談は、とても貴重な時間です。来年度は県内各地から沢山の方に参加していただき、現場の声を県行政へ届けていけるとよいなと思いました。

(豊川市保護者OB)

昨年に引き続き今年も県懇談にお邪魔させていただきました。昨年に比べ地域からのご参加が少なかったのが残念に感じました。しかし参加された地域の方も初めてながら積極的に発言頂き、行政と学童保育への関わりへの関心の高さが伺えました。

県の担当の方も去年と同様とても勉強熱心に感じる方で意思の疎通ができていたように感じました。学童保育の保護者は数年の関わりで終わってしまう保護者が多いですが、勝手ながら行政の担当の方は出来るだけ長く携わっていただけたらありがたいなと思いました。

(名古屋市保護者)

## ほいく誌交流会に参加して



9月1日(日)にほいく誌交流会に参加してきました！今回はほいく誌5月号に掲載されている「ミニピザまん」を参加者で作るという企画です。親子で参加された方が多く、レシピを見ながら準備を始めました。子ども達が「やりたい！やりたい！」って積極的に参加する姿、さすが学童っ子です。大人のいい加減な目分量でいろいろありましたが出来上がり！今回のメニューの名前が変更となりました。「子ども達のアイデアで生まれ変わったミニピザまん」とても美味しかったです。今回のほいく誌交流会も楽しみですね。

(津島市保護者OB)



★完成★

午後からの運営委員  
会でお裾分けいた  
だきました♪

## 「日本の学童ほいく」オススメ記事♪

2019年8月号 P10~14

「子どもたちの主体的な生活を守るために」

～安心できる生活から遠ざかる日々～

私がこの記事を選んだ理由は子どもたちが過ごす生活空間の大切さについての体験談が書かれていたからです。うち学童スマイルクラブは66名の多人数での生活は学校から帰ってきてする手洗いやトイレなどは長蛇の列ができ、おやつや宿題の時間は過密な状態(空間)ゆえに隣の人とぶつかるとケンカが始まるような生活環境だったそうです。また、ケンカも頻繁に起こるようになると子どもが互いに無関心になり、指導員もケンカが起きないように絶えず監視をしなければならず子どもと存分に遊ぶことができなくなり、最後にはお迎えに来た保護者に子どもの様子を伝える余裕なくなり保護者との関係もおそろかになってしまったそうです。子ども達が毎日「ただいま」と帰り生活する場所が狭くてのびのびと遊びもできない空間では安心できる生活とは到底言えません。そしてその状態が毎日続けば子どもたちのストレスも相当なものになるでしょう。そして子どものストレスはケンカと言う形で指導員に伝わり、保護者へと伝わり問題が複雑化しやすいと思います。このクラブは分割する(新しいクラブを増やす)ことで問題を解決したそうですが、実際分割はすぐには出来るものではありません。まずは、指導員・保護者が子どもの視点に立って「子どもたちにとっての安心な生活の場」について話し合いをすることが問題を解決するスタートラインだと思います。大規模でないクラブの方も一度話し合ってみてください。(津島市保護者OB)



## 秋の自治体キャラバン

自治体キャラバンは春と秋に愛知県内の市町村担当課を訪問して、学童保育に関する市町村の施策の考えや変化、状況を聴きます。また、こちらからも情報や要望を伝えています。秋のキャラバンでは愛保協という保育団体と一緒に回ります。地域の方のご参加お待ちしております。キャラバンのコース日程は以下になります。

日程	曜日	午前 10:00~11:30	午後 14:00~15:30
10月7日	月	一宮	稲沢
10月8日	火	岩倉	北名古屋
10月9日	水	犬山	
10月10日	木	日進	
10月11日	金		津島
10月15日	火	愛西	知立
10月16日	水	尾張旭	江南 14:30~
		瀬戸	あま
10月17日	木	春日井	
		半田	
10月18日	金	小牧	長久手
10月21日	月	知多	東海
		豊明	
		常滑	碧南
10月23日	水	常滑	碧南
10月24日	木	高浜	大府
10月25日	金	刈谷	弥富
10月28日	月	清須	
10月29日	火		西尾
10月30日	水	豊田	みよし
11月5日	火	豊川	
11月6日	水	豊橋	新城
11月8日	金	岡崎	蒲郡
11月12日	火	安城	
11月13日	水		田原

## 全国学童保育研究集会まであと少し！！



第54回全国学童  
保育研究集会(京都)が  
10月19・20日に  
開催されます。今年  
は、みんなでさーい  
こう！(315人)

を参加目標にしています。参加申込の締め切りを10月6日まで延長しました。当日参加も可能ですが、お申し込みをお急ぎ下さい。今年は近隣の県での開催となります。保護者の方も、指導員の方も沢山のご参加お待ちしております♪

全国研ニュース・リー  
フレット(あいち版)を  
是非参考にしてください♪

